



## マンガの図書館利用に関するアンケート

「これも学習マンガだ！」実行委員会



## 目次

### 調査概要

高校図書館ではマンガをどれくらい扱っているか

高校図書館ではどんなマンガを扱っているか

高校図書館ではどんなマンガが読まれているか

マンガと図書館利用者数の関係について

マンガと一般書利用の関係について

マンガを教育に活かす可能性について

高校図書館におけるマンガの有用性と課題

## 調査概要

- ・調査対象 岐阜県下の高等学校および特別支援学校の司書
  - ・回答者数 64名
- 内訳：

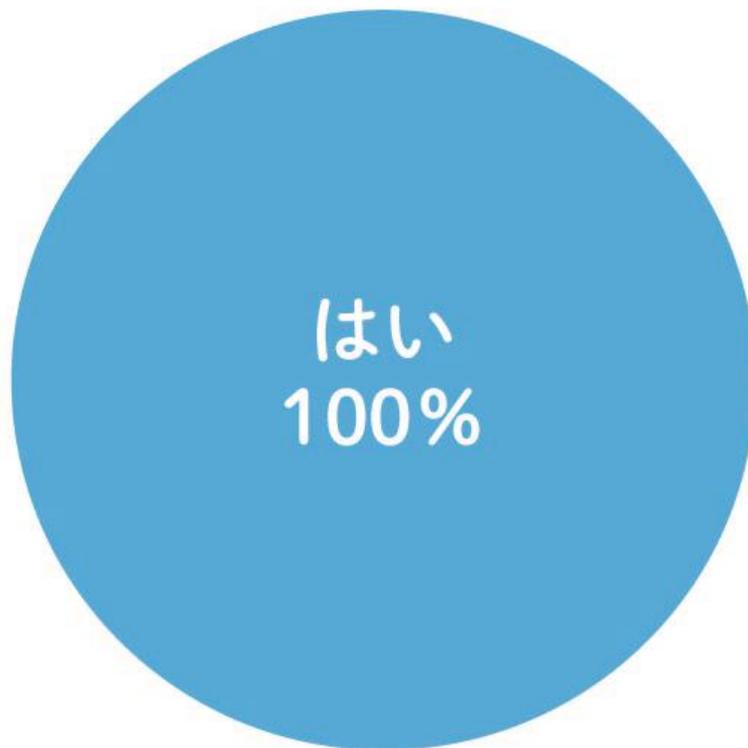
公立高校図書館	58
私立高校図書館	4
中高一貫校図書館	1
その他（特別支援学校）	1
合 計	64

2019年11月20日（水）、岐阜県総合教育センターにて開催された岐阜県高等学校教育研究会図書館部会研究大会での「これも学習マンガだ！」事務局長・山内康裕による講演の参加者事前課題として実施。

## 高校図書館ではマンガをどれくらい扱っているか

Q1.お勤めの図書館にマンガ（「日本の歴史」などの、いわゆる“学習漫画”を含む）は置いていますか？

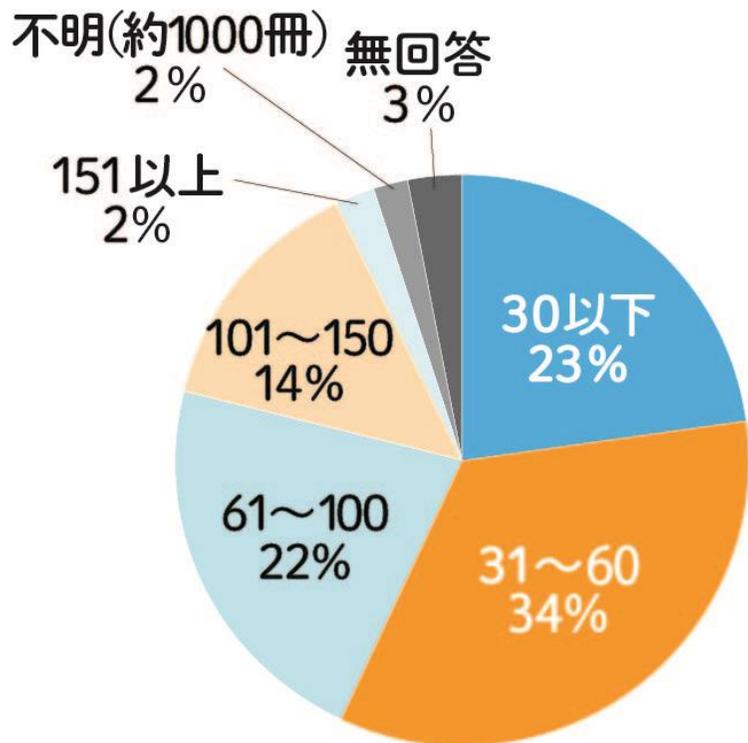
- ・いわゆる“学習漫画”を含めると、回答のあった全ての高校図書館で何らかの作品が配架されている。



## 高校図書館ではマンガをどれくらい扱っているか

Q2.マンガを何タイトル（シリーズ）くらい置いていますか？  
それは多いと感じますか？ 少ない（もっと増やしたい）と感じますか？

- ・ 31～60タイトルを配架している館が最も多く、100タイトル以下の館が約8割に上る。
- ・ 60タイトル以下の館では、増やしたいという意向があるところが多い。
- ・ 61～100タイトルの館では「多い」「少ない」の意見がそれぞれ同程度。導入としてはこの数が適正か。
- ・ コミックエッセイ等の単巻作品が多いためタイトル数も多くなるが、一般マンガは少ないという館も。

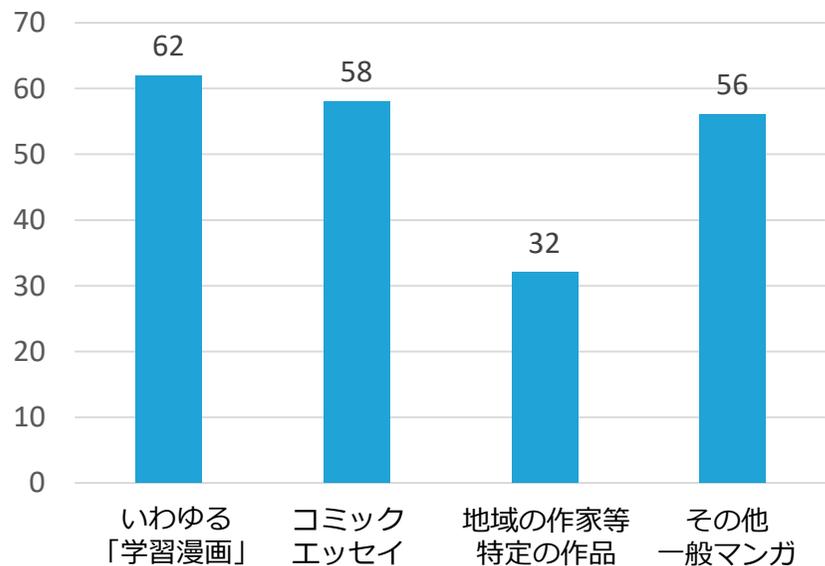


	多い	少ない	どちらでもない 無回答	合計
30タイトル以下	3	10	2	15
31～60タイトル	9	12	1	22
61～100タイトル	6	6	2	14
101～150タイトル	5	3	1	9
151タイトル以上	1	0	0	1
不明(約1,000冊)	1	0	0	1

## 高校図書館ではどんなマンガを扱っているか

- ・タイトル数の割合は不明ながら、ほとんどの館で「いわゆる“学習漫画”」「コミックエッセイ」「一般マンガ」各カテゴリの作品が配架されている。
- ・購入タイトルは多くの館で利用者のリクエストと司書自身のリサーチに基づいて検討されているほか、各種マンガ賞の受賞作や人気作品、「これも学習マンガだ！」等の選書リストも活用されている。

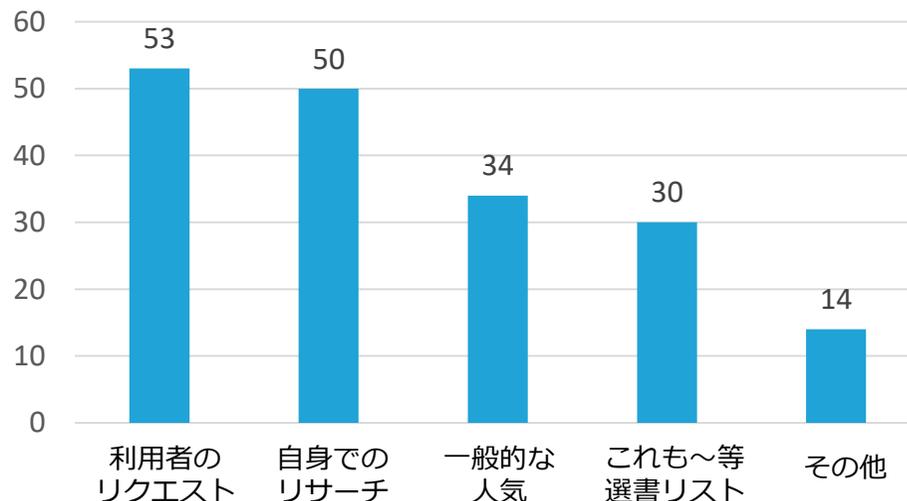
### Q3.どんなマンガを置いていますか？（複数回答可）



#### 【特定の作品／その他の内容】

- ・小栗左多里 ・山田貴敏 ・宮川サトシ ・伊藤潤二
- ・米澤穂信原作のもの
- ・『聲の形』・『えびがわ町の妖怪カフェ』・『ジュニオール』
- ・工業高校が舞台になっているもの

### Q4.マンガは何を基準に購入していますか？（複数回答可）



#### 【その他の内容】（ ）内は回答数

- ・進路や学習、生活等で生徒の学びに役立つようなもの
- ・生徒の進路に役立つもの（お仕事コミックエッセイなど）
- ・受賞作 ・新聞や雑誌の書評 ・先生の推薦（2）
- ・学校の専門分野に関するテーマのもの（2）

## Q5.いわゆる「学習漫画」「エンタテインメントマンガ」を分けていますか？

・「学習漫画／エンタテインメントマンガ」という分け方というよりは、「特定分野（歴史、古典文学等）を扱ったマンガ・学習漫画」と「その他のマンガ」で区別し、前者はそれぞれの関係分類に配架している館が多い。歴史、古典等の学習漫画は上製本が多い等、体裁や判型による部分も大きいようである。

### ▼「学習漫画」と「エンタテインメントマンガ」を分けている

- ・学習漫画はそれぞれの関係分類、ストーリーマンガは「マンガ(726.1)」で分けている。
- ・生徒の利便性を考え、学習漫画は関係分類へ、エンタテインメントマンガは「マンガ」コーナーへ別置している。
- ・学習漫画は関係分類や特設コーナーへ配置している。
- ・学習漫画の中には一般図書と同じ棚に配架しているものもあるが、大半はコミックとして配架している。

### ▼「学習漫画」に限らず、 特定分野のマンガとその他のマンガを分けている

- ・歴史マンガは歴史の棚へ、コミックエッセイはそれぞれの関係分類へ配架し、その他は「マンガ」コーナーにまとめている。
- ・歴史や文学など、分類のあるものは他のマンガと分けて配置している（書架の大きさの都合もあり）。
- ・歴史マンガ、福祉系の題材を扱ったマンガについては、関係分類に近い場所に置いている。
- ・スペースの都合で、歴史マンガと古典マンガはその他のマンガとは別に置いている。
- ・コミックエッセイや古典マンガはそれぞれの関係分類へ配架している。

### ▼特定の「学習漫画」のみ分けている

- ・「日本の歴史」「世界の歴史」のみ分けているが、ほかはすべて「マンガ」棚に配架している。
- ・『まんがでわかる〇〇』等のものは一般書と一緒に配架している。娯楽性が高いと判断したマンガは、利用者の利便性を考えて固めて配架している。

### ▼区別して扱っていない

- ・分類や配架で区別はしていない。
- ・近年はストーリーマンガも学習の要素が含まれるものもあり（「はたらく細胞」など）、特に区別はしていない。判型の関係で置き場所が分かれることはあり。（歴史マンガはハードカバー大判のものが多いなど）
- ・学習漫画／エンタテインメントマンガ／コミックエッセイで棚は分けているが、大きなくくりでは同じ方面に配置している。
- ・分けていない。ただし、テーマによっては各分類の棚やコーナーの書架へ混ぜ込んで配架している。（お仕事マンガ→進路コーナー、『うちのトコでは』→361（社会学）など）

## 高校図書館ではどんなマンガが読まれているか

Q6.特に人気の高い（利用の多い）タイトルがあれば教えてください。

1	『はたらく細胞』(スピンオフ作品も含む)	23
2	『ちはやふる』	16
3	『宇宙兄弟』	14
3	『ハイキュー!!』	14
5	『聲の形』	7
5	『SLAM DUNK』	7
7	『3月のライオン』	6
7	『キングダム』	6
7	『文豪ストレイドッグス』	6
10	『コウノドリ』	5
10	『ONE PIECE』	5
12	『銀の匙』	4
13	「まんがで読破」シリーズ	2
13	『Dr.STONE』	2
13	『あさきゆめみし』	2
13	『学習まんが日本の歴史』	2
13	『進撃の巨人』	2
13	『聖☆おにいさん』	2
13	『学研まんがNEW世界の歴史』	2
13	『漫画版世界の歴史』	2

・2018年にTVアニメ化もされた「はたらく細胞」が、多数のスピンオフシリーズも含め強く支持されている様子。

・上位20タイトルのうち、『はたらく細胞』『ちはやふる』『宇宙兄弟』『聲の形』『3月のライオン』『キングダム』『コウノドリ』『銀の匙』『あさきゆめみし』『聖☆おにいさん』の10作は、いずれも「これも学習マンガだ！」選出作品。

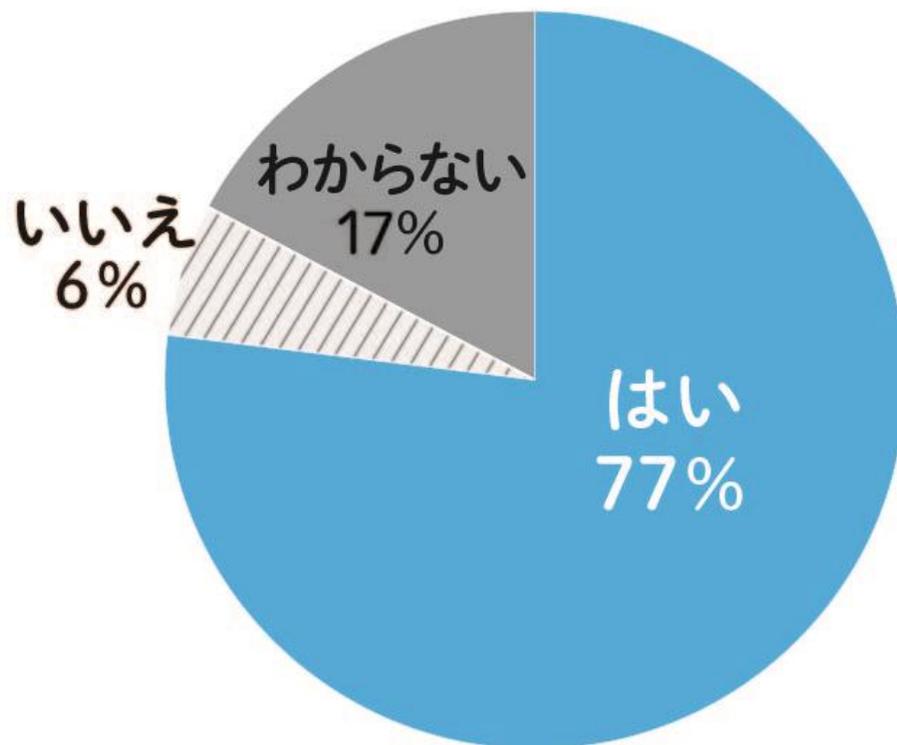


：「これも学習マンガだ！」選出作品

## マンガと図書館利用者数の関係について

Q7.マンガがあることで、図書館の利用が増えていると思いますか？

- ・多くの館で、マンガによって図書館の利用が増えていると考えられている。



## Q8.マンガと図書館利用者数の関係について、そのように回答した理由を教えてください。

- ・人気マンガを読みに来る生徒がいること、そういった生徒は友達同士連れ立って来館することが多いことのほか、授業の中で図書館にあるマンガ（学習漫画を含む）の利用が推奨されるといった理由も見られた。
- ・一方、マンガは貸出を行わず館内利用に限定しているため、利用者数との相関はわかりにくいという館も。

### 【「はい」の理由】

- ・小中学校の図書館には置いていないマンガも多く物珍しいからだと思います。
- ・人気マンガを入れていなかった時には図書館へ来なかった生徒が、来館してマンガを借りていくようになった。
- ・マンガしか読まない生徒も滞在してよい、というシグナルになっていると思う。
- ・続きが気になるからと、普段図書館に来ない生徒が継続的に来てくれるようになる。
- ・校内での待ち時間に利用している。
- ・マンガ（だけ）が目的の利用者が一定数いる。
- ・マンガを読みに来る生徒がほとんどなので。
- ・小説は無理でも、マンガなら読めるという子は一定数いると思う。
- ・人気のマンガがあることで、生徒間にて口コミで広がり、利用者が増えている
- ・マンガを借りに来る生徒の半分くらいは友達を伴って来館するため。
- ・本は苦手でもマンガ目当てに来館する。友達同士で連れだって来ることが多い。
- ・読書が好きでない生徒にも、マンガは新入生オリエンテーションの時に注目を集めやすい
- ・本校では、センター試験の勉強用に「世界の歴史」「日本の歴史」の漫画版が多く利用されている。地歴の先生も、3年生の夏休み以降に世界史や日本史の成績を上げたいという生徒に対して、漫画でざっくりと流れを把握するよう推奨している。また、現代文の時間に毎時間10分間読書を行っている。活字が苦手な自力で本を用意する気のない生徒が、その時間にマンガを借りて行って、こっそり読んでいる。『はたらく細胞』は、生物の時間で免疫の授業があった間、クラスで回し読みしていた。
- ・「はたらく細胞」をとっかかりに、健康に関する本を展示するなど、展示の展開にも役立っている。

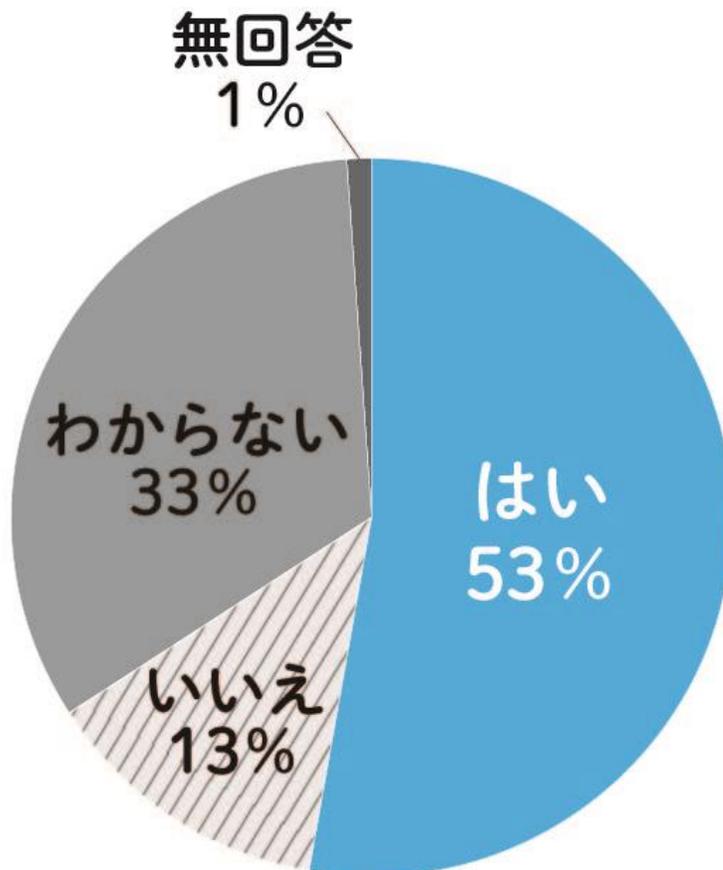
### 【「わからない」の理由】

- ・見ている生徒はマンガが呼び水なのではなく、ほかの本を見に来たついでにマンガを見ているように思う。
- ・マンガの貸出をしていないため。
- ・貸出をしていないためか配架場所が悪いためか、あまり認知されていない。
- ・今年是一般的な人気や校内アンケートで人気のあるマンガを購入してみたが、予想していたよりもマンガの利用は少ないと感じる。

## マンガと一般書利用の関係について

Q9.マンガをきっかけとして一般書にも興味を持つ利用者はいますか？

- ・マンガをきっかけとして一般書も利用されていると考えている館は、全体の約半数。



## Q10.一般書の利用に関して、そのように回答した理由を教えてください。

- ・マンガが目当てで図書館に通っていた生徒が何度も来館するうちに一般書籍に興味を持つようになったという例や、人気マンガの原典やノベライズ版、扱われているテーマに関する書籍が利用されるといった例が散見された。
- ・一方で、「マンガを読みに来る生徒はマンガにしか興味を示さない」「マンガを読む生徒はもともと一般書も利用しており、関連性は不明」などの声も。

### 【「はい」の理由】

#### ▼来館したついでに一般書を利用する

- ・マンガを借り(返し)に来館したついでに、雑誌や一般の小説なども手に取り借りる生徒もいる。
- ・普段はマンガを読みに来る生徒が、写真集や雑学の本などのライトな内容の本を手取る姿を見た。
- ・借りるのはマンガがほとんどだった生徒が、「何か面白い本ない?」と尋ねてきたことがある。
- ・進んで一般書籍を探すことはしないが、マンガコーナーまでの導線に企画展示コーナーを設けており、目にとまった本を借りていく生徒がいる。

#### ▼原作本、関連書籍に興味を持つ利用者がいる

- ・『アルスラーン戦記』、文庫のシリーズを勧めると借りていく。
- ・『うた恋い。』を読んで登場人物の歌集を借りる生徒や、古典が面白くなったと言った生徒がいた。
- ・『文豪ストレイドッグス』をきっかけに太宰や芥川を読んだ生徒がいる。
- ・『ちはやふる』の隣に百人一首の本、『マンガで読破』シリーズと一般書籍を並べて置くことでマンガと一般書籍を借りていく利用者もいる。
- ・小説版『文豪ストレイドッグス』の貸出に繋がっている。
- ・『聖☆おにいさん』を読み神仏紹介本などで調べるなどしている利用者が確実に1人いるため。ただ、大多数の利用者は、マンガはマンガ、本は本として利用している。

#### ▼その他

- ・マンガを何度も借りに来ることで司書が顔見知りになり、気楽に話ができる関係性が作れたことでどんな本が好きか、中学のときどんな本を読んでいたか、などの話をするようになり、一般書籍も借りるようになった利用者がある。

### 【「いいえ」の理由】

#### ▼マンガにしか興味を示さない

- ・マンガと、そのジャンルの一般書籍を併読する利用者は「最初からそのジャンルに興味があって、さらに楽しむためにマンガも手取る」というスタンスで、その逆は見たことがない。ゲーム『Fate』から古代史に、『刀剣乱舞』から日本刀に興味を持った例は散見されるが、ゲームとマンガで何が違うのかが分からない。興味深い現象だと思っている。
- ・毎日のように図書館に来てマンガを読んでいた生徒が、自分の好みのマンガを読みつくすと、姿を見せなくなるケースが多い。
- ・本校図書の場合、漫画愛好者は活字を嫌う傾向が大。加えて学習漫画にも興味を示さない。
- ・マンガしか借りない生徒も不特定多数いる。

#### ▼その他

- ・広報が不足していると思う。

### 【「わからない」の理由】

- ・マンガをよく借りる生徒は図書も借りており、きっかけがマンガかは不明。
- ・関連本コーナーなどを作れば興味を持つかもしれないが、現在司書に余裕がなくて手が回っていないので
- ・生徒の中ではマンガと小説等は全く別ジャンル扱いになっているように見受けられる。

## マンガを教育に活かす可能性について

### Q11.マンガを教育に活かす可能性をどのように感じていますか？

- ・馴染みの薄い題材でも、娯楽性があり、文字と絵による表現であるマンガであれば興味を持ちやすく、理解にもつながりやすいという意見が多かったほか、直接的な学校教育にすぐに活かすことにはならなくとも、広い意味での知識・教養につながるという声があった。
- ・その他、具体的にマンガを授業や学校教育に活用した事例や今後の活用案も挙がっている。

#### ▼題材に興味を持ってもらいやすい

- ・一般書では手に取られないテーマでも、マンガなら読まれることがある。「教養枠」として、人気に関係なく社会問題等を扱ったマンガを購入している（「コウノドリ」「健康で文化的な最低限度の生活」「聲の形」「はたらく細胞」など）。
- ・マンガであれば読める、マンガであれば読みたいという気持ちのある生徒がおり、その気持ちを活かせる。
- ・文章を読むことに抵抗のある生徒が増えており、分厚い本は見た目だけで「無理」と言うほどだが、同程度の厚さのマンガであれば手に取ることがある。
- ・「マンガでわかる○○」など、一般書の内容をわかりやすく解説しているものも多く、導入にちょうどいいと思う。

#### ▼絵があることで理解が深まる・広がる

- ・「はたらく細胞」を借りた生徒から親兄弟みんなで読んだという話を聞き、絵を介することで幅広い年代の理解を助けていると感じた。
- ・文章だと理解しにくい、説明しづらいことでも写真や絵などを見るとわかりやすく、理解できることもあると思う。
- ・古典など、身近でない題材は絵で描かれているほうがイメージしやすい。

#### ▼長い目で見ての「教養」につながる

- ・優れた文学作品が情操を育て、人としての豊かさにつながるように、優れたマンガも心の栄養になりえる。また、文章だけでは理解が難しい内容に興味・関心・理解を得られることで、実生活に生かせる知識を得ることができる。
- ・読解力や相手の立場に立って考える想像力を育てるうえで物語はかなり有効である。その点においてマンガは学生にとっては小説よりも手に取りやすく、内容によっては一般書以上に知識が身につくものもあると思う（「コウノドリ」など）。
- ・生徒の知識の1つになっていけば良い。そのためにも、できるだけ専門家の監修があるマンガを受け入れたい。

#### ◇応用的な「学習（学校教育）」への活用例・案

- ・本校では過去にマンガを使って知的財産権について学ぶ授業が行われていた。
- ・マンガの「行間」を読み取れない生徒が増えているのではないかと感じる。「フキダシの中の台詞と表情で落差があるコマ」や「台詞やモノローグではなく風景で心象を表現しているコマ」等を使って読解力を養う授業などもありえるのでは。
- ・外国語習得のために行う原文図書の多読の一環として、英語版マンガの教育的活用が図れるのではと期待している。

## 高校図書館におけるマンガの有用性と課題

### Q12.マンガを高校図書館に置くことの有用性はどこにあると思いますか？

- ・息抜きや娯楽、知識や情報・文化に触れるきっかけ、教室とも家庭とも異なる空間など、学校図書館という「場」が持つ様々な意義に照らして有用であるという意見が挙がった。
- ・近い領域である文芸と比較して同様の価値があるという点や、マンガの世代・立場を越えたコミュニケーションツールとしての有用性についても触れられている。

#### ▼「図書館」という場のハードルを下げる

- ・活字が苦手な生徒にも気軽に来館してほしいと呼びかけることができる。
- ・生徒に「この図書館は自分たちのための場所だ」と思ってもらえる。
- ・図書館が（堅苦しい場所ではなく）息抜きの場である印象を持ってもらえる。
- ・話題のマンガを置くことで、普段から来館する生徒とは違う層の生徒の来館につなげることができる。

#### ▼様々な知識に触れるきっかけになる

- ・現在のマンガは非常に多岐にわたる分野を扱っているの  
で、職業紹介や人権教育、平和教育の一助になると思う。
- ・例えば奨学金や社会福祉については知っているかいなかで、生活の質が大きく変わることがあり、そういう社会常識のようなものが、マンガでは読みやすく紹介されているように思う。

#### ▼資料的価値がある

- ・日本の表現文化として認めていくべきものである。
- ・芸術性が高く、図書館資料として価値がある。
- ・マンガだからという特別な意識はなく、資料の一種とらえている。

#### ▼文芸との比較

- ・文芸作品と同様に、マンガを読んで心を動かされることがあり、それは高校生にとって大切なことであると思う。
- ・文章だけの本との違いをあまり感じない。マンガはストーリー+絵で伝えられるメッセージも多く、マンガだからこそ読める内容もあるように思う。
- ・生徒の心に寄り添うようなマンガや、人生を考えさせるようなマンガに出会うことができる。

#### ▼コミュニケーションツールとして

- ・マンガを置くことで生徒とコミュニケーションが取りやすくなる。何に興味があり、何が好きなのかを知るきっかけになる。
- ・作品によっては教員も読むので、教員と生徒が共通の話題を持てる。

#### ▼「マンガを読むための場」として

- ・文字だけの本は読めないがマンガなら読めるという生徒は必ずいる。また、家庭の方針でマンガを買ったり読んだりできない生徒もおり、そういう生徒を掬い上げてあげられるのが学校図書館であると思う。

### Q13.一方で、マンガを高校図書館に置くことの弊害（課題）は何だと思えますか？

- ・多くの館が利用マナーについて頭を悩ませており、様々な場での啓発が求められると思われる。
- ・特に年配層の教員が、マンガに理解がないという声が多数見られた。
- ・巻数が多くスペースを圧迫しやすい・娯楽性の強いマンガはそれだけに選書においても一般書よりも課題が多く、「これも学習マンガだ！」のような選書リストの存在は重要なものと考えられる。
- ・一般書への誘導には前項目で成功事例も挙がっており、実績や情報の蓄積・発信が必要とされているようである。

#### ▼利用マナー、モラルの問題

- ・騒がしくなる。マンガだけを目的に来館する生徒によって、他の生徒が落ち着いて閲覧できなくなることがあった。
- ・長期延滞や又貸しが横行する。
- ・蔵書の盗難や紛失が起りやすく、カウンターを無人にできない。
- ・授業中に読む等、本来やるべきことをやらずにマンガを読んでもしまう生徒がいる。

#### ▼教員の無理解

- ・図書館のマンガを授業中に読んでいた生徒がいたようで、マンガを貸出禁止にしてほしいという要望が教員から上がったことがある。マンガ以外の本が授業中に読まれていても同様の要望が上がったことはないので、マンガが教員に良く思われていないのだろうと感じる。高校図書館の運営には教員の理解が不可欠なので、蔵書を増やすことや貸出については慎重にならざるをえない。
- ・マンガやライトノベルに傾倒することが成績低下の要因と考えている教員がいる。
- ・「マンガは本ではない」という考えの教員もあり、理解を求める必要がある。

#### ▼選書の難しさ

- ・一般書に比べて巻数が多くなりがちなので、置ける種類（タイトル）が限られる。
- ・どのタイトルをどこまでの範囲で入れるかが悩ましい。他校の実績事例を参考にすることが多い。
- ・リクエストが際限なく来るが、全てに応えることはできない。そうなると「やっぱり図書館はあまり使えない」と感じる生徒がいる。
- ・過激な描写のあるマンガもあり、成長期にある生徒は大人よりも影響を強く受けるため、選定は慎重に行う必要があると感じる。

#### ▼一般書の利用につながらない

- ・マンガばかり読んで一般書を読まなくなってしまうということはあると思う。
- ・マンガ目的の利用者のほとんどは他の本に目を向けない。情報リテラシーや読解力、問題解決力等を育成するという学校図書館の本来の機能は、マンガが充実しすぎていると果たせなくなってしまうのではないかと思う。
- ・名著をマンガ化したものだけを読んで満足されてしまう。マンガは作者（マンガ家）の解釈が反映されると思うので、できれば原作も読んでほしいと思う。